

平成22年8月期 第3四半期決算短信



平成22年7月15日

上場会社名 グローウェルホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3141 URL <http://www.growell.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高田 隆右
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員グループ財務経理本部長 (氏名) 佐藤 範正 TEL (03) 5207-5878
 四半期報告書提出予定日 平成22年7月15日 配当支払開始予定日 -

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年8月期第3四半期の連結業績 (平成21年9月1日～平成22年5月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|---------|------|-------|------|-------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 22年8月期第3四半期 | 170,624 | 20.0 | 4,735 | 17.9 | 5,039 | 16.7 | 2,418 | 41.9 |
| 21年8月期第3四半期 | 142,184 | - | 4,015 | - | 4,317 | - | 1,704 | - |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-----------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年8月期第3四半期 | 161 50 | - |
| 21年8月期第3四半期 | 121 29 | - |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 22年8月期第3四半期 | 96,818 | 32,105 | 32.1 | 1,852 43 |
| 21年8月期 | 86,867 | 26,912 | 29.9 | 1,850 30 |

(参考) 自己資本 22年8月期第3四半期 31,119百万円 21年8月期 25,996百万円

2. 配当の状況

| (基準日) | 1株当たり配当金 | | | | |
|-------------|----------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 年間 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年8月期 | - | - | - | 35 00 | 35 00 |
| 22年8月期 | - | 17 50 | - | | |
| 22年8月期 (予想) | | | | 17 50 | 35 00 |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成22年8月期の連結業績予想 (平成21年9月1日～平成22年8月31日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----|---------|------|-------|------|-------|------|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通 期 | 238,000 | 19.6 | 7,000 | 27.6 | 7,300 | 23.6 | 3,000 | 39.3 | 194 35 |

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
（注）詳細は、5 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）
① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無
② ①以外の変更 : 有
（注）詳細は、5 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数（普通株式）
- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 22年8月期第3四半期 | 16,814,698株 | 21年8月期 | 14,065,198株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年8月期第3四半期 | 15,458株 | 21年8月期 | 15,202株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間） | 22年8月期第3四半期 | 14,976,376株 | 21年8月期第3四半期 | 14,050,267株 |

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による景気刺激策等により回復傾向は見られるものの、緩やかなデフレ状況の継続などにより消費者の生活防衛意識が高く、引き続き節約志向の動きが見られるなど、個人消費が低調に推移する厳しい環境が継続しております。

ドラッグストア業界におきましては、平成21年6月に施行された改正薬事法により、異業種参入、M&Aや資本・業務提携の業界再編の動きが一段と加速する中、消費の低迷、出店競争や価格競争の波を受け、業界を取巻く環境は一層厳しい状況となっております。

このような状況下におきまして、当社グループは、引き続き「ドラッグ&調剤」を中心としたビジネスモデルの推進に注力するとともに、お客さまニーズに対応する商品戦略の推進、販管費等のコスト削減に取組むなど更なるグループ力の向上に努めてまいりました。また、平成22年3月1日に株式会社イレブン（以下「イレブン」という。）との経営統合を行い、更なるグループ力の強化にも努めております。

店舗の出店・閉店につきましては、新規出店34舗、閉店6店舗となり、当第3四半期連結会計期間末の当社グループの店舗数は、イレブンの完全子会社化による63店舗を加え、以下のとおり657店舗となりました。

(単位：店)

| | 前期末店舗数 (平成21年8月31日) | 出店数 | 閉店数 | 第3四半期末店舗数 (平成22年5月31日) |
|---|------------------------|--------|-----|---------------------------|
| ウエルシア関東及びび子会社 (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店) | 350 (282) (247) | 16 | 4 | 362 (299) (257) |
| 高田薬局 (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店) | 104 (43) (20) | 8 | 1 | 111 (45) (39) |
| 寺島薬局 (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店) | 112 (27) (65) | 8 | — | 120 (51) (78) |
| イレブン及びび子会社 (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店) | — (—) (—) | (注) 65 | 1 | 64 (17) (40) |
| 合 計 (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店) | 566 (352) (332) | 97 | 6 | 657 (412) (414) |

(注) 平成22年3月1日付で完全子会社化したことにより63店舗増加し、また、当第3四半期連結累計期間において2店舗の新規出店をしております。

また、品目別売上高は、下記の通りとなっております。

| 区分 | 金額（百万円） | 前年同四半期比(%) |
|----------------------|---------|------------|
| 医薬品・衛生介護品・ベビー用品・健康食品 | 46,105 | 115.8 |
| 調剤 | 13,276 | 130.5 |
| 化粧品 | 32,445 | 117.0 |
| 家庭用雑貨 | 24,626 | 115.8 |
| 食品 | 38,856 | 115.4 |
| その他 | 15,313 | 160.8 |
| 合計 | 170,624 | 120.0 |

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高170,624百万円（前年同四半期比20.0%増）、営業利益4,735百万円（同17.9%増）、経常利益5,039百万円（同16.7%増）となり、特別損失として店舗の固定資産等に関する減損損失を283百万円計上したものの、四半期純利益は2,418百万円（同41.9%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の分析

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して9,951百万円増加し、96,818百万円となりました。これは主に、商品が4,540百万円、有形固定資産が2,620百万円及び差入保証金が1,796百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して4,758百万円増加し、64,713百万円となりました。これは主に、買掛金が3,338百万円、短期借入金が1,538百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して5,192百万円増加し、32,105百万円となりました。これは主に、配当金745百万円の支払による減少に対して、イレブンとの株式交換による資本剰余金の増加3,454百万円、及び当第3四半期連結累計期間における四半期純利益2,418百万円を計上したことによるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、7,531百万円（前年同四半期末比2,381百万円の減少）となりました。

当第3四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、5,203百万円の増加（前年同四半期比959百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益4,788百万円に対して、主な増加要因として減価償却費1,900百万円、仕入債務の増加1,564百万円及び主な減少要因として法人税等の支払額2,801百万円があったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,965百万円の減少（前年同四半期比10,192百万円の増加）となりました。これは主に、保険積立金の解約による収入586百万円に対して、有形固定資産の取得による支出2,414百万円及び敷金の差入による支出1,079百万円があったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、3,817百万円の減少（前年同四半期比16,668百万円の減少）となりました。これは主に、長期借入れによる収入1,335百万円に対して、長期借入金の返済による支出4,514百万円及び配当金の支払額745百万円があったこと等によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年8月期通期の業績予想につきましては、現時点では「平成21年8月期 決算短信」（平成21年10月15日付）において公表いたしました予想から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度末決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

表示方法の変更

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係）

前第3四半期連結累計期間において、「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた「定期預金の預入による支出」及び「定期預金の払戻による収入」については重要性が増加したため、当第3四半期連結累計期間では区分掲記することとしております。なお、前第3四半期連結累計期間の「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含まれる「定期預金の預入による支出」は△15百万円、「定期預金の払戻による収入」は79百万円であります。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

| | 当第3四半期 連結会計期間末 (平成22年5月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年8月31日) |
|-------------|-----------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 8,816 | 9,237 |
| 売掛金 | 4,062 | 3,291 |
| 商品 | 26,491 | 21,951 |
| その他 | 3,972 | 3,571 |
| 貸倒引当金 | △6 | △2 |
| 流動資産合計 | 43,337 | 38,049 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 14,012 | 12,704 |
| 土地 | 5,919 | 5,191 |
| リース資産（純額） | 4,679 | 4,227 |
| その他（純額） | 973 | 841 |
| 有形固定資産合計 | 25,585 | 22,964 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 11,253 | 10,657 |
| その他 | 897 | 779 |
| 無形固定資産合計 | 12,150 | 11,436 |
| 投資その他の資産 | | |
| 差入保証金 | 13,172 | 11,376 |
| 破産更生債権等 | 70 | 77 |
| その他 | 2,571 | 3,039 |
| 貸倒引当金 | △70 | △77 |
| 投資その他の資産合計 | 15,744 | 14,415 |
| 固定資産合計 | 53,480 | 48,817 |
| 資産合計 | 96,818 | 86,867 |

(単位：百万円)

| | 当第3四半期 連結会計期間末 (平成22年5月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年8月31日) |
|--------------|-----------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 28,764 | 25,426 |
| 短期借入金 | 9,660 | 8,122 |
| 未払金 | 1,891 | 1,963 |
| 未払法人税等 | 1,324 | 1,578 |
| 賞与引当金 | 467 | 378 |
| ポイント引当金 | 1,759 | 1,536 |
| その他 | 3,721 | 3,308 |
| 流動負債合計 | 47,589 | 42,313 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 740 | 784 |
| 長期借入金 | 11,202 | 12,600 |
| 退職給付引当金 | 494 | 388 |
| 役員退職慰労引当金 | 1,332 | 594 |
| その他 | 3,354 | 3,272 |
| 固定負債合計 | 17,123 | 17,640 |
| 負債合計 | 64,713 | 59,954 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,000 | 1,000 |
| 資本剰余金 | 17,725 | 14,271 |
| 利益剰余金 | 12,417 | 10,744 |
| 自己株式 | △32 | △32 |
| 株主資本合計 | 31,110 | 25,983 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 9 | 13 |
| 評価・換算差額等合計 | 9 | 13 |
| 少数株主持分 | 985 | 915 |
| 純資産合計 | 32,105 | 26,912 |
| 負債純資産合計 | 96,818 | 86,867 |

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成21年5月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成22年5月31日) |
|-------------------|---|---|
| 売上高 | 142,184 | 170,624 |
| 売上原価 | 101,066 | 121,768 |
| 売上総利益 | 41,117 | 48,855 |
| 販売費及び一般管理費 | 37,101 | 44,120 |
| 営業利益 | 4,015 | 4,735 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 95 | 78 |
| 協賛金収入 | 135 | 85 |
| その他 | 327 | 408 |
| 営業外収益合計 | 558 | 571 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 193 | 187 |
| その他 | 63 | 80 |
| 営業外費用合計 | 256 | 267 |
| 経常利益 | 4,317 | 5,039 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 12 | — |
| 貸倒引当金戻入額 | 4 | 1 |
| 受取補償金 | 9 | — |
| 移転補償金 | — | 21 |
| 保険解約返戻金 | — | 35 |
| 退職給付制度改定益 | — | 31 |
| その他 | 3 | 14 |
| 特別利益合計 | 30 | 104 |
| 特別損失 | | |
| 店舗閉鎖損失 | 40 | 39 |
| 固定資産除却損 | 12 | 7 |
| 投資有価証券売却損 | 32 | — |
| 投資有価証券評価損 | 93 | 2 |
| 減損損失 | 381 | 283 |
| たな卸資産評価損 | 298 | — |
| その他 | 8 | 22 |
| 特別損失合計 | 866 | 354 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,480 | 4,788 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,017 | 2,522 |
| 法人税等調整額 | △211 | △222 |
| 法人税等合計 | 1,805 | 2,300 |
| 少数株主利益又は少数株主損失(△) | △29 | 69 |
| 四半期純利益 | 1,704 | 2,418 |

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成20年9月1日 至平成21年5月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成21年9月1日 至平成22年5月31日) |
|--------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,480 | 4,788 |
| 減価償却費 | 1,446 | 1,900 |
| 減損損失 | 381 | 283 |
| のれん償却額 | 809 | 946 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △3 | △4 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 133 | 58 |
| 役員退職慰勞引当金の増減額 (△は減少) | 47 | 45 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | 33 | 9 |
| ポイント引当金の増減額 (△は減少) | 226 | 190 |
| 受取利息及び受取配当金 | △95 | △78 |
| 支払利息 | 193 | 187 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | 32 | △3 |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | 93 | 2 |
| 有形固定資産売却損益 (△は益) | △12 | — |
| 固定資産除却損 | 12 | 7 |
| 固定資産受贈益 | △70 | △26 |
| 為替差損益 (△は益) | 2 | — |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △417 | △494 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △1,952 | △2,364 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 1,481 | 1,564 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | △45 | △34 |
| その他 | 1,165 | 1,036 |
| 小計 | 6,943 | 8,013 |
| 利息及び配当金の受取額 | 85 | 74 |
| 利息の支払額 | △193 | △193 |
| 法人税等の支払額 | △2,590 | △2,801 |
| 法人税等の還付額 | — | 110 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 4,244 | 5,203 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | — | △575 |
| 定期預金の払戻による収入 | — | 583 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △3,320 | △2,414 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △90 | △57 |
| 子会社株式の取得による支出 | △718 | — |
| 保険積立金の解約による収入 | — | 586 |
| 敷金の差入による支出 | △1,207 | △1,079 |
| 敷金の回収による収入 | 143 | 78 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | △7,658 | △76 |
| その他 | △307 | △9 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △13,157 | △2,965 |

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成21年5月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成22年5月31日) |
|----------------------|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 2,726 | 1,322 |
| 長期借入れによる収入 | 13,110 | 1,335 |
| 長期借入金の返済による支出 | △2,442 | △4,514 |
| 社債の償還による支出 | △111 | △686 |
| 配当金の支払額 | △172 | △745 |
| ファイナンス・リース債務の返済による支出 | △256 | △536 |
| 自己株式の取得による支出 | △1 | △0 |
| その他 | — | 8 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 12,851 | △3,817 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △2 | — |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 3,935 | △1,579 |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | 789 | 816 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 5,188 | 8,294 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 9,913 | 7,531 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年9月1日 至 平成21年5月31日）

当社グループの事業は、医薬品・衛生介護品・ベビー用品・健康食品、調剤、化粧品、家庭用雑貨、食品等を扱う小売業を主たる事業としており、この事業の売上高及び営業利益の金額は、いずれも全セグメントに占める割合が90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年9月1日 至 平成22年5月31日）

当社グループの事業は、医薬品・衛生介護品・ベビー用品・健康食品、調剤、化粧品、家庭用雑貨、食品等を扱う小売業を主たる事業としており、この事業の売上高及び営業利益の金額は、いずれも全セグメントに占める割合が90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年9月1日 至 平成21年5月31日）

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年9月1日 至 平成22年5月31日）

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年9月1日 至 平成21年5月31日）

海外売上高がないため、海外売上高の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年9月1日 至 平成22年5月31日）

海外売上高がないため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

(単位：百万円)

| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
|-----------------------|-------|--------|--------|------|--------|
| 前連結会計年度末残高 | 1,000 | 14,271 | 10,744 | △32 | 25,983 |
| 当第3四半期連結会計期間末までの変動額 | | | | | |
| 株式交換による増加 (注) 1 | | 3,454 | | | 3,454 |
| 剰余金の配当 (注) 2 | | | △745 | | △745 |
| 四半期純利益 | | | 2,418 | | 2,418 |
| 自己株式の取得 | | | | △0 | △0 |
| 当第3四半期連結会計期間末までの変動額合計 | | 3,454 | 1,673 | △0 | 5,127 |
| 当第3四半期連結会計期間末残高 | 1,000 | 17,725 | 12,417 | △32 | 31,110 |

(注) 1 平成22年3月1日付で株式会社イレブンを完全子会社化したことによるものであります。

2 株式会社イレブンの旧買主に対する配当金の支払額7百万円が含まれております。